

日本薬学会

第6回全国学生ワークショップ

「社会が私たちに求めているものは何か？

～未来を支える薬剤師としての
プロフェッショナリズムを考える～」

報告書

平成29年3月

I チーム



II チーム



III チーム



目 次

| | ページ |
|-------------------------------|-----|
| 第6回全国学生ワークショップの経緯と概要 | 1 |
| プログラム | 3 |
| ワークショップ参加者および班分け | 5 |
| 「ワークショップ開催の経緯」について | 6 |
| セッション報告 | 9 |
| 第一部「プロを目指して：私達の進路と夢」 | 10 |
| 作業説明 | 11 |
| グループ報告 | 15 |
| 第二部「求められるニーズは何か？」 | 42 |
| セッションⅠ | 42 |
| 作業説明 | 43 |
| グループ報告 | 46 |
| セッションⅡ | 75 |
| 作業説明 | 76 |
| グループ報告 | 78 |
| 教育講演「医療人のプロフェッショナリズムとは」 | 97 |
| 第三部「薬剤師として求められるプロフェッショナリズムとは」 | 103 |
| セッションⅠ・Ⅱ | 103 |
| 作業説明 | 104 |
| グループ報告 | 107 |
| 参加者印象記 | 155 |
| 参加者アンケート結果 | 183 |
| 卒業生印象記 | 216 |
| 卒業生アンケート結果 | 225 |
| 薬剤師として求められる基本的な資質に関するアンケート結果 | 232 |
| | |
| 日本薬学会第6回全国学生ワークショップ実行委員 | 237 |

第6回 全国学生ワークショップ開催の経緯と概要

平成18年4月に6年制薬学教育が始まって10年を経過した今年、71の薬系大学・薬学部から1名ずつ6年次生が参加し、第6回全国学生ワークショップが開催された。本ワークショップの開催の経緯は以下のとおりである。

日本薬学会は平成23年度より薬学教育の在り方について議論を行う場として「薬学教育委員会」を設置した。薬学教育委員会の事業には、薬学教育に携わる大学教員や薬剤師のためのFD (Faculty Development) が含まれており、その一環として「薬学教育者のためのアドバンスワークショップ」を開催してきた。平成23年度の第1回アドバンスワークショップを企画する過程で、学習の主体である学生のニーズを確認する必要性が指摘された。同年度には6年制薬学教育の第1期生が最終学年を迎えることから、薬学教育に対するフィードバックを受ける目的で、全国の薬系大学・薬学部の6年次学生による「第1回全国学生ワークショップ」を平成23年8月に開催した。6年制薬学教育の成果と課題をテーマに活発な論議が行われる中で、参加者や薬学教育関係者から学生ワークショップの定期的な開催が強く要望された。第2回からは下記のように1泊2日のプログラムとして継続している。平成24年8月に第2回(テーマ「6年制教育に望むこと、卒業後に取り組んで行きたいこと」)、平成25年8月に第3回(テーマ「医療への貢献、社会への貢献：これから薬剤師としてどのように行動するか」)、平成26年8月に第4回(テーマ「私達が築く新しい医療と社会：将来への思いを共有しよう」)、平成27年8月に第5回(テーマ「私たちのプロフェッショナルリズム、私たちが築く新しい医療と社会」)と5回にわたって全国学生ワークショップを開催してきた。

第6回全国学生ワークショップは、平成28年8月5～6日に行われ、卒業年次を迎えた第6期生71名と卒業生で本ワークショップの参加経験者22名が参加した。テーマは「社会が私たちに求めているものは何か?～未来を支える薬剤師としてのプロフェッショナルリズムを考える～」とした。10年後、20年後を見据え、全ての薬学分野で活躍するALL薬剤師という観点で、薬剤師のプロフェッショナルリズムについて考え、討議した。薬剤師を取り巻く環境は急速に変化しつつあるが、プロフェッショナルリズムは医療人の軸となり不変である。受けた教育も経験もそれぞれ異なる中で、討議し、情報を共有することで、6年制教育で自ら身につけてきたことを振り返りかえるきっかけとなることが期待される。また、今回のワークショップでは第2回のワークショップで実施した「薬剤師として求められる基本的な資質」に関するアンケートを4年ぶりに実施した。10の基本的な資質の修得度を自己評価するアンケートである。6年制薬学教育が始まって間もない2期生と6年制薬学教育が浸透してきた6期生の自己評価を比較した。

本ワークショップでは、6年生参加者71名は3チーム9グループに分かれ、各グループに1～2名のタスクフォースがついた。卒業生は希望により、討論に参加しないオブザーバー(卒業生A、13名)とのタスクフォース見習い(卒業生B、9名)に分かれた。それぞれ9グループについて6年生によるグループ討議を見守った。

1日目は、開会式後、各チームに分かれ自己紹介をした後、第一部「プロを目指して：私たちの進路と夢」をWorld caféの形式で行った。「私の大学のここが好き」、「6年間で成長したこ

とについて自由に話してみよう」「10年後の活躍している場面をイメージしよう」と過去、現在、未来の3テーマについて自由に語り合った。第二部「求められるニーズは何か？」では、セッションⅠで、「これからの薬剤師に求められる社会のニーズ」をKJ法で抽出・整理した。セッションⅡ「10年後、20年後の将来を想像しながら、社会のニーズに応える自分を演じてみよう～多様な薬剤師の活躍の場を考え、演じてみよう～」ではKJ法で出てきたニーズをもとに、シナリオ作成と寸劇を上演した。セッション終了後、参加者全員で情報交換会を行ったあと、自由参加のアドバンス情報交換会でさらに親睦を深めた。

2日は日本医学教育学会理事の木下牧子先生の「薬剤師として求められるプロフェッショナルリズムとは」の教育講演から始まった。第三部「薬剤師として求められるプロフェッショナルリズムとは」のセッションⅠ「未来を支える薬剤師として何ができる？すべきことを考えよう！」では、木下先生の講演から、1日目の寸劇のシナリオを振り返り、加筆修正後、未来を支える薬剤師としての行動宣言を考えた。発表後、チームで討論し、3グループの発表をまとめたチーム全体の行動宣言を作成した。昼食後はセッションⅡ「真に求められるプロフェッショナルリズムを共有しよう」というテーマで、参加者個々の行動宣言を考え、グループ内で発表した。第四部の総合討論では、3つのチームごとにまとめた行動宣言の発表の後、卒業生も交え、自由討議を行った。最後に前回アンケートを実施した2期生の卒業生が「薬剤師として求められる基本的な資質」に関するアンケート結果を発表した。

本報告書では、セッションごとにグループの担当者がまとめたセッション報告と参加者による印象記を掲載した。参加者による1日ごとの評価結果と自由記述も掲載しているが、自由記述からは本ワークショップに対する参加者たちの率直な思いが伝わってくる。また、「薬剤師に求められる基本的な資質」に関するアンケート結果も2回分を比較する形で掲載した。

なお、編集の都合上、セッション報告書に一部形式を変更した点があることをご了承いただきたい。

本報告書が今後の薬学教育の向上の一助となれば幸いである。

日本薬学会第6回全国学生ワークショップ
「社会が私たちに求めているものは何か？」
～未来を支える薬剤師としてのプロフェッショナリズムを考える～

主催 : 公益社団法人 日本薬学会
開催日時 : 平成28年8月6日(土) 10:00 ~ 7日(日) 16:00
開催場所 : クロス・ウェーブ梅田
(〒530-0026 大阪市北区神山町1-1 2 TEL:06-6312-3200)
参加者 : 大学6年次生 71名 (3P9S:1グループ7~8名)、卒業生 22名

プログラム

第1日目: 8月6日(土)

| | | |
|-------|--------------|-----|
| 9:30~ | 受付(1階) | |
| 9:55 | 配布物の確認、連絡事項 | 5分 |
| 10:00 | 開会のあいさつ | 5分 |
| 10:05 | ワークショップ開催の経緯 | 10分 |

アイスブレイク

| | | |
|-------|---------------|-----|
| 10:15 | 作業説明、チームセッション | 15分 |
|-------|---------------|-----|

第一部「プロを目指して: 私達の進路と夢」

| | | |
|-------|--------------|------|
| 10:30 | 作業説明、小グループ討議 | 105分 |
| 12:15 | 昼食 | 60分 |

第二部「求められるニーズは何か？」

セッションI

| | | |
|-------|-----------------|------|
| 13:15 | 作業説明、小グループ討議、発表 | 140分 |
| 15:35 | 休憩 | 15分 |

セッションII

| | | |
|-------|-------------------|------|
| 15:50 | 作業説明、小グループ討議 | 105分 |
| 17:35 | 休憩 | 15分 |
| 17:50 | 発表 | 60分 |
| 18:50 | 1日目のアンケート、連絡事項の伝達 | 10分 |
| 19:10 | 情報交換会 | 120分 |
| 21:10 | アドバンスト情報交換会 | |

第2日目：8月7日（日）

| | | |
|-------|-------------------------------|-----|
| 7：00～ | 朝食 | |
| 8：30 | 1日目アンケートの結果報告 | 5分 |
| 8：35 | 教育講演「医療人のプロフェッショナリズムとは」木下牧子先生 | 45分 |

第三部「薬剤師として求められるプロフェッショナリズムとは？」

セッションⅠ

| | | |
|-------|----------------------|------|
| 9：20 | 作業説明、小グループ討議、発表、総合討論 | 180分 |
| 12：20 | 昼食 | 60分 |
| | プロダクト展示 | |

セッションⅡ

| | | |
|-------|---------|-----|
| 13：20 | 小グループ討議 | 60分 |
| 14：20 | 休憩 | |

第四部「総合討論」

| | | |
|-------|----------------------------|-----|
| 14：30 | 発表、総合討論 | 70分 |
| 15：40 | 閉会のあいさつ | 5分 |
| 15：45 | 2日目アンケート、総合評価アンケート、連絡事項の伝達 | 25分 |
| 16：00 | 解散 | |

ワークショップ参加者および班分け

I チーム

チーフ: 河野武幸

| A班 | |
|--------|--------|
| 有馬 太陽 | 姫路獨協大学 |
| 大里 隆二 | 東京薬科大学 |
| 岡本 敬介 | 北海道大学 |
| 土方 舞子 | 城西大学 |
| 三木 静香 | 就実大学 |
| 水野 稜子 | 近畿大学 |
| 柚木崎 美織 | 熊本大学 |
| 吉川 智理 | 昭和薬科大学 |

タスクフォース: 大津史子

卒(A): 柏原道志・田中彩弥加

卒(B): 志田美春

| B班 | |
|--------|----------|
| 上嶋 仁美 | 同志社女子大学 |
| 内田 泰弘 | 岐阜薬科大学 |
| 岡本 まとか | 昭和大学 |
| 門脇 洵亮 | 東北医科薬科大学 |
| 榊原 綾海 | 静岡県立大学 |
| 羽野 彰 | 第一薬科大学 |
| 藤原 桜子 | 東京理科大学 |
| 湯川 稜汰 | 福山大学 |

タスクフォース: 小佐野博史

卒(A): 東本祐佳

卒(B): 津倉秀幸

| C班 | |
|--------|----------|
| 伊藤 智平 | 徳島大学 |
| 梶野 愛 | 名古屋市立大学 |
| 佐飛 慎大 | 北陸大学 |
| 島貫 成美 | いわき明星大学 |
| 瑞慶寛 長海 | 九州保健福祉大学 |
| 竹内 隆馬 | 大阪薬科大学 |
| 安平 梨加 | 武庫川女子大学 |
| 吉村 美穂 | 横浜薬科大学 |

タスクフォース: 高橋 寛

卒(A): 河本純平・寺井 唯

卒(B): 山口奈美子

| 講師 | |
|-------|-------|
| 木下 牧子 | 光風園病院 |

| 行政 | |
|-------|-------|
| 前島 一実 | 文部科学省 |

| 事務局 | |
|--------|-------|
| 土肥 三央子 | 日本薬学会 |

II チーム

チーフ: 賀川義之

| A班 | |
|--------|----------|
| 青木 公香 | 兵庫医療大学 |
| 秋山 智 | 徳島文理大学香川 |
| 大平 奈穂 | 長崎大学 |
| 川上 智恵子 | 広島国際大学 |
| 田野邊 苗平 | 武蔵野大学 |
| 野村 実紀 | 慶應義塾大学 |
| 元井 優太郎 | 新潟薬科大学 |
| 横須賀 祐紀 | 摂南大学 |

タスクフォース: 川崎郁勇

卒(A): 吉川望美・名執 翔

卒(B): 小嶋 崇弘

| B班 | |
|--------|--------|
| 打矢 貴子 | 名城大学 |
| 荻野 悠加 | 京都大学 |
| 草間 智美 | 千葉科学大学 |
| 嶋 佑介 | 金沢大学 |
| 関根 悠 | 奥羽大学 |
| 尊田 有香子 | 神戸学院大学 |
| 平田 葵 | 帝京大学 |
| 森 裕也 | 崇城大学 |

タスクフォース: 橋詰 勉

卒(A): 白石彩奈

卒(B): 堀之内歩

| C班 | |
|--------|----------|
| 遠藤 彩香 | 国際医療福祉大学 |
| 海宝 佳恵 | 帝京平成大学 |
| 木村 美咲 | 千葉大学 |
| 小林 慎也 | 大阪大谷大学 |
| 高垣 菜央 | 安田女子大学 |
| 高室 ひと穂 | 立命館大学 |
| 長谷川 稟忠 | 北海道医療大学 |
| 蜂須 和馬 | 高崎健康福祉大学 |

タスクフォース: 亀井美和子・井上裕文

卒(A): 井元優美

卒(B): 佐々木将太郎

| ディレクター | |
|--------|---------|
| 赤池 昭紀 | 薬学教育委員長 |
| 太田 茂 | 会頭 |

| タスクフォース | |
|---------|---------|
| 塩田 澄子 | 就実大学 |
| 井上 裕文 | 福山大学 |
| 入江 徹美 | 熊本大学 |
| 大津 史子 | 名城大学 |
| 大柳 賀津夫 | 北陸大学 |
| 賀川 義之 | 静岡県立大学 |
| 亀井 美和子 | 日本大学 |
| 川崎 郁勇 | 武庫川女子大学 |
| 河野 武幸 | 摂南大学 |
| 小佐野 博史 | 帝京大学 |
| 鈴木 匡 | 名古屋市立大学 |
| 高橋 寛 | 岩手医科大学 |
| 田村 豊 | 福山大学 |
| 徳山 尚吾 | 神戸学院大学 |
| 橋詰 勉 | 京都薬科大学 |
| 長谷川 洋一 | 名城大学 |

卒(A): オブザーバー

卒(B): タスクフォース補助

III チーム

チーフ: 入江徹美

| A班 | |
|--------|--------|
| 小野 奈緒 | 岡山大学 |
| 小畑 志保 | 京都薬科大学 |
| 高橋 あかね | 岩手医科大学 |
| 玉田 将幹 | 九州大学 |
| 富永 一摩 | 愛知学院大学 |
| 新村 糧 | 城西国際大学 |
| 濱端 綾太 | 神戸薬科大学 |
| 山本 ありさ | 北里大学 |

タスクフォース: 鈴木 匡

卒(A): 濱崎久司・青木雅史

卒(B): 北川奈美

| B班 | |
|-------|--------|
| 市原 果奈 | 東邦大学 |
| 岩田 瑞希 | 福岡大学 |
| 内川 詩野 | 金城学院大学 |
| 中野 充貴 | 大阪大学 |
| 遠水 智加 | 徳島文理大学 |
| 湊山 亜未 | 富山大学 |
| 矢萩 弘晃 | 日本大学 |
| 山崎 翔太 | 松山大学 |

タスクフォース: 徳山尚吾・大柳賀津夫

卒(A): 増淵龍一郎

卒(B): スタッフ由紀子

| C班 | |
|--------|----------|
| 新井 亜主美 | 明治薬科大学 |
| 梅原 伸匡 | 日本薬科大学 |
| 江崎 のぞみ | 長崎国際大学 |
| 工藤 真子 | 広島大学 |
| 高橋 雅也 | 北海道薬科大学 |
| 西川 茜 | 鈴鹿医療科学大学 |
| 原 智明 | 東京大学 |

タスクフォース: 田村 豊・長谷川洋一

卒(A): 北野あすか

卒(B): 宮坂知幸

| 卒業生 | | 参加WS |
|----------|-------------------|------|
| 佐々木 将太郎 | 北陸大学薬学部 | 第1回 |
| 宮坂 知幸 | 厚生労働省医政局経済課 | |
| 山口 奈美子 | 武田薬品工業医薬研究本部 | |
| 小嶋 崇弘 | スギ薬局 | 第2回 |
| 吉川 望美 | 浜松医科大学病院薬剤部 | |
| 井元 優美 | 浜松医科大学病院薬剤部 | 第3回 |
| 柏原 道志 | 聖隷淡路病院薬剤部 | |
| 志田 美春 | 神戸薬科大学大学院博士課程 | |
| 白石 彩奈 | メディセレ | |
| 東本 祐佳 | EP総合 | |
| 堀之内 涉 | 宇治徳洲会病院薬剤部 | 第4回 |
| 北川 奈美 | サエラ薬局 | |
| 北野 あすか | 京都大学病院治験管理部 | |
| 河本 純平 | 川崎医科大学病院薬剤部 | |
| 津倉 秀幸 | 国立がん研究センター中央病院薬剤部 | |
| 濱崎 久司 | 長崎大学病院薬剤部 | 第5回 |
| 増淵 龍一郎 | 獨協医科大学日光医療センター薬剤部 | |
| 青木 雅史 | 日本血液製剤機構 | |
| スタッフ 由紀子 | 金沢大学大学院博士課程 | |
| 田中 彩弥加 | サエラ薬局 | |
| 寺井 唯 | スギ薬局 | |
| 名執 翔 | ロシュ・ダイアグノスティクス | |

卒業生担当: 長谷川洋一・亀井美和子

日本薬学会
第6回全国学生ワークショップ

ワークショップ開催の経緯

実行委員長 塩田澄子

2016年8月6日(土)
クロスウェーブ梅田

公益社団法人日本薬学会 The Pharmaceutical Society of Japan

6年制薬学教育を支える機関、団体等



文部科学省、厚生労働省
日本薬学会
全国薬科大学長・薬学部長会議、国立大学薬学部長(科長・学長)会議
日本私立薬科大学協会
薬学共用試験センター、薬学教育評価機構
薬学教育協議会、日本薬剤師研修センター
日本薬剤師会、日本病院薬剤師会ほか

日本薬学会薬学教育委員会

薬学教育の向上を目的に多くの
事業を展開

大学教員に対して教育に関する研鑽
の場を提供



学習の主体者である学生のニーズを
取り入れる必要性

日本薬学会 全国学生ワークショップ



第1回
2011年8月

最終学年を迎えた6年制一期生から薬学教育に
対するフィードバックを受ける目的で、
6年制薬学教育の成果と課題について論議する
ワークショップを開催することとした

日本薬学会 全国学生ワークショップ



第1回
2011年8月

第2回
2012年8月

第3回
2013年8月

第4回
2014年8月

第5回
2015年8月

過去5回のテーマ

- 第1回 2011年8月4日 大阪大学中之島センター 62名(62大学)
「6年制一期生として薬学教育に望むこと」
- 第2回 2012年8月8～9日 クロスウェーブ府中 67名(67大学)
「6年制薬学教育に望むこと、
卒業後に取り組んでいきたいこと」
- 第3回 2013年8月10～11日 クロスウェーブ府中 70名(70大学)
「医療への貢献、社会への貢献：
これから薬剤師としてどのように行動するか」
- 第4回 2014年8月9～10日 クロスウェーブ府中 69名(69大学)
「私達が築く新しい医療と社会：
将来への思いを共有しよう」
- 第5回 2015年8月8～9日 クロスウェーブ府中 69名(69大学)
「私達プロフェッショナリズム：
私達が築く新しい医療と社会」

先生たちも・・・

日本薬学会

薬学教育者のためのアドバンスワークショップ

- 第1回 2011年12月
- 第2回 2012年11月
- 第3回 2013年10月
- 第4回 2014年11月
- 第5回 2015年10月



薬学教育も薬学生とともに成長する！

2013年度 薬学教育モデル・コアカリキュラム 改訂

薬剤師として求められる基本的な資質

豊かな人間性と医療人としての高い使命感を有し、生命の尊さを深く認識し、生涯にわたって薬の専門家としての責任を持ち、人の命と健康な生活を守ることを通して 社会に貢献する。

- | | |
|---------------|---------------------|
| ① 薬剤師としての心構え | ⑥ 薬物療法における実践的能力 |
| ② 患者・生活者本位の視点 | ⑦ 地域の保健・医療における実践的能力 |
| ③ コミュニケーション能力 | ⑧ 研究能力 |
| ④ チーム医療への参画 | ⑨ 自己研鑽 |
| ⑤ 基礎的な科学力 | ⑩ 教育能力 |

2015年度入学生からは新カリキュラムが各大学でスタート

6年制薬学教育プログラム

薬学教育
モデル・コア
カリキュラム



大学
オリジナル
カリキュラム

実務実習
モデル・コア
カリキュラム

2017年4月
それぞれの
進路へ・・・



第102回
薬剤師国家試験

6年次科目
就職活動

2015年度
長期実務実習

2014年度
薬学共用試験

学生生活も残り8ヵ月

皆さんは何を学んできましたか？

そして将来 薬剤師として

どのように社会に関わりますか？



日本薬学会 第6回全国学生ワークショップ

2016年8月6・7日
クロスウェーブ梅田

ALL薬剤師

社会が私たちに求めているものは何か？

～未来を支える薬剤師としての
プロフェッショナリズムを考える～

参加者 71名 (71大学)
タスクフォース 16名 (14大学)
第1回～第5回参加者 22名

日本薬学会 第6回全国学生ワークショップ

構成

- 各班は7~8名で 1班 (S)
 - A班・B班・C班
 - 3つの班で1チーム (P) : I・II・III
 - I A・I B・I C
 - II A・II B・II C
 - III A・III B・III C
- } 3P (全9班)

まずは同じ班から、そしてたくさんの仲間と
話して、考えて、仲良くなろう！
ここにいる仲間は一生「同期生」です！

プログラム概要

| | | | | |
|--------|-------|------------|--------|--|
| 6日 (土) | 10:15 | アイスブレイク | P | |
| | 10:30 | 第一部 | P | |
| | 13:15 | 第二部 (I) | 3P⇒S⇒P | |
| | 15:50 | 第二部 (II) | 3P⇒S⇒P | |
| | 19:10 | 情報交換会 | 3P | |
| | 23:00 | 終了 | | |
| 7日 (日) | 8:30 | アンケート結果報告 | 3P | |
| | 8:35 | 教育講演 | 3P | |
| | 9:20 | 第三部 (I) | 3P⇒S⇒P | |
| | 13:20 | 第三部 (II) | S | |
| | 14:30 | 第四部 (総合討論) | 3P | |
| | 16:00 | 解散 | | |

ワークショップのルール

- お互いに名前を呼びましょう：〇〇さん、〇〇くん
⇒ 名札は見える位置に
- タスクフォースの大学教員も「先生」でなく「〇〇さん」で呼んで下さい。
- 集合時間を守りましょう。
- スマホ・携帯電話の電源は切っておきましょう。

**大学から1人しか参加していないからといって
大学を代表する必要はありません。
みんな仲間と思って、意見交換を積極的に楽しんで下さい。**

では

**各チーム(P)に分かれて
ワークショップの開幕です！**



荷物はここに置いて貴重品をもって
3階の各Pの部屋に移動してください。

